



答 申 第 2 号  
令和 5 年 10 月 13 日

那覇市長 知念 覚 様

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会  
委員長 與儀 實津夫



地方独立行政法人那覇市立病院令和 4 年度業務実績評価について（答申）

令和 5 年 9 月 25 日付け諮問第 2 号について、下記のとおり答申いたします。

記

別紙「地方独立行政法人那覇市立病院 令和 4 年事業年度業務実績評価に関する意見」のとおり答申します。

地方独立行政法人那覇市立病院

令和4年事業年度 業務実績評価に関する意見

令和5年10月

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会

本評価委員会において、那覇市長より令和5年9月25日付け諮問第2号で諮問のあった「地方独立行政法人那覇市立病院令和4年度実績評価に関する意見について」について審議を行った。その結果は以下のとおりである。

## **1. 全体的な意見**

今後も、市民に提供するサービスその他の業務の質の向上、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善に引き続き取組み、那覇市立病院としての使命を果たしていくことを期待する。

中期計画第1から第4の各事項については次のとおりである。

### **第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項**

令和4年度の救急車受入数は前年度より増加したものの、前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響による診療制限があり、救急搬送受入要請件数の大幅な増加もあったことから、救急車受入率は低下した。しかし、救急患者数・入院患者数が大幅に増加したことや新たに救急医1名を採用したことにより、平日日中の救急医療体制の維持・充実が図られたことを評価する。

また、小児・周産期医療の確保に関し、地域医療機関と適切に連携した結果、小児救急患者数は前年度に比べて大幅に増加し、地域医療機関との連携推進・強化においては、紹介率・逆紹介率は低下したものの高率を維持しており、開放病床利用率は向上している。さらには、クリニカルパス適用患者数の実績が増加したこと及びクリニカルパスの有効活用により眼科や形成外科の業務負担軽減につなげる等、最適な医療の提供に努めていることを評価する。

そして、前年度に引き続き、コロナ対応における小児科医の確保や受診枠の調整などでの保健所との連携、那覇市医師会との情報共有・拡大防止策の検討により、地域全体の感染防止対策の強化へ寄与したことを高く評価する。

### **第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項**

新たに「職員やりがい度調査」を実施し、また、「医師の働き方改革」に向けて委員会設置・開催し、働きやすい職場環境づくりに努めたことを評価する。

### **第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置**

過年度の「新型コロナウイルス入院病床確保支援事業補助金」の自主返還が生じ、当期純損失を計上したことは残念であったが、コロナ禍の中、「経常収支比率」100%超を確保したことを評価する。

### **第4 その他業務運営に関する重要事項**

昨今の建築価額の高騰で予算が増加することも考えられるため、新病院建設を着実に推進できるよう、那覇市と調整して進めていただきたい。

## 2. 項目別の意見（別添：令和4年事業年度業務実績評価書参照）

### 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

（注1：（ ）は評価項目の番号を表す。以下同じ。）

（注2：【 】は那覇市立病院の自己評価を表す。以下同じ。）

#### (1) 救急医療体制の維持・充実【ウエイト2 評価Ⅲ】

（意見）

救急医2名体制となり、救急医療体制の維持・充実が図られ、救急患者数・入院患者数が大幅に増加し、公立病院としての役割を果たしていることを評価する。看護師等の人数不足は、全県の問題であるので、沖縄県全体に対しても発信していただきたい。

#### (2) 充実した小児・周産期医療の確保【ウエイト2 評価Ⅲ】

（意見）

小児救急患者数は大幅に増加しており、地域医療機関と適切に連携し、市立病院に求められている小児・周産期医療を提供していることを評価する。

小児の救急のみならず、ハイリスク妊娠やNICUの受入など、琉球大学病院や沖縄県立病院（南部医療センター・こども医療センター及び中部病院）との連携もできていた。今後も他の医療機関と連携しながら小児・周産期医療の維持に努めていただきたい。

#### (3) 平時からの備えと発災後対応【ウエイト2 評価Ⅱ】

（意見）

コロナ禍の中、訓練・研修等が実施出来なかったのはやむを得なかったと理解するが、防災・防火訓練は重要であり、何らかの形で実施する工夫をしていただきたい。

#### (4) 他医療機関との連携【ウエイト2 評価Ⅱ】

（意見）

災害等に備え、他医療機関との連携や、ネットワークづくりは継続的に進められたい。

(5) 医療支援への取組【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

DMAT実働訓練や技能維持研修への積極的な派遣により災害研修会参加者数が増加したことを評価する。また、沖縄県コロナ対策本部の派遣要請によるクラスター施設等への派遣に対応したことを評価する。今後もDMAT活動を継続し、院内感染対策にも取り組むほか、チームのメンバーを増やす努力を続けていただきたい。

(6) 保健所との連携【ウエイト2 評価Ⅴ】

(意見)

小児科医の確保や受診枠の調整など保健所との連携や、那覇市医師会との情報共有・拡大防止策の検討により、地域全体の感染防止対策の強化に寄与していることを高く評価する。

(7) 保健・福祉行政との連携【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

CKDサポート外来の連携継続への努力を良とする。また、那覇市や各市町村及び医療保険者と連携した取組みにより健診数が増加していることを評価する。

(8) 地域包括ケアシステムの推進【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

患者サポートセンターの設置により入退院支援調整が効率的に運営されていることを評価する。退院前後カンファレンスのリモート活用や退院支援研修等は今後も継続していただきたい。

(9) 市民への情報の提供・発信【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

リニューアルしたホームページは見やすくなっており、市民への情報提供が適切に実施されている。今後は人間ドックの混雑状況の提供など病院側の事務負担軽減と利用者の利便性の向上を図っていただきたい。また、広報誌は発行継続が望ましいため発行方法を検討していただきたい。

(10) 専門性を持った医療人の確保【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

今後とも専門性を持った医療人の継続確保に努力していただきたい。  
また、専門性を持った医療人の確保状況について分かりやすい指標の設定を検討されたい。

(11) 医療機器等の計画的な更新・整備【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

引き続き新病院への設備投資とバランスをとりながら、医療機器等の計画的更新・整備に努められたい。

(12) がん医療の充実【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

コロナの影響の中で、「地域がん診療連携拠点病院」の更新を終えたことを評価する。今後も継続して実績をあげていただきたい。また、がん患者と関わらない医療職も含めた緩和ケア研修の実施を検討いただきたい。

(13) 地域医療機関との連携推進・強化【ウエイト2 評価Ⅱ】

(意見)

コロナ禍の中、「地域医療支援病院運営委員会」「地域医療連携交流会」を開催し、連携医療機関との意見交換等が図られた事を評価する。また、紹介率・逆紹介率は低下したが高率を維持、開放病床利用率は向上していることは評価できる。

地域連携パスについて、平時に戻った後、パス数や適用患者数の増加を図られたい。

(14) 人材の確保及び育成【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

医師、看護師、その他の学会発表数が増加していること及び各部門における認定・資格取得を積極的に推進していることを評価する。

臨床研修医確保に努力が見られるが、定員が満たされなかった要因を検討するとともに、引き続き、情報発信等を通じて人材の確保に努めていただきたい。

(15) 患者中心の医療【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

コロナの影響による受診制限があったが、前年度に指摘された「セカンドオピニオン」の増加を良とする。また、ホームページでセカンドオピニオンの詳しい紹介があることを評価する。

(16) 医療安全対策の徹底【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

インシデントの0レベル報告数の増加と、院内感染対策研修会開催数が増加したことを評価する。引き続き TeamSTEPPS を推進し報告件数の増加を図りたい。

(17) 医療の標準化と最適な医療の提供【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

クリニカルパス適用患者数の実績が増加したことを評価する。また、クリニカルパスを必要に応じて作成、見直しを実施しているほか、クリニカルパスの有効活用で眼科や形成外科の業務負担軽減につなげていることを評価する。今後もパス数や適用患者数を増やす取組みを行っていただきたい。

(18) 法令の遵守及び行動規範に沿った業務運営【ウエイト1 評価Ⅱ】

(意見)

コロナ禍の中での業務運営の困難さは理解できるが、コンプライアンスや職業倫理は継続的な課題であり、どんなときでも、啓発努力は続けていただきたい。また、コンプライアンス研修は必要不可欠であり、Web研修のシステムの安定的な運用を実現していただきたい。

(19) 快適性及び利便性の向上【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

放射線治療装置が稼働し、患者の治療負担軽減が図れる様になったことを良とする。また、「患者満足度調査」が実施出来た事を評価する。なお、トイレアメニティや待ち時間対策は継続改善が必要なテーマであるので、満足度の数値にかかわらず努力を継続していただきたい。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### (20) ボランティアとの協働の推進【ウエイト1 評価Ⅱ】

(意見なし)

### (21) 職員の接遇向上【ウエイト1 評価Ⅱ】

(意見)

患者は精神的にデリケートになっており、医療従事者として配慮できるように、マナー研修は重要である。

### (22) PDCA サイクルの確実な実践【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

「DMAT チーム」の院外訓練参加を良とし、次年度の院内訓練の開催を期待する。逆紹介の強化へ向けて、後方連携策として転院後対応策の種々の工夫・活用を図っている事を評価する。「病棟配置薬」の見直しの取り組み開始も評価する。「医師の働き方改革」への取り組みが良い結果を生む事を期待する。

それぞれの部署が、確実にPDCAを進めているように思われる。このような進捗状況を病院全体で共有していただきたい。

### (23) チーム医療の推進【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

緩和ケア診療加算件数・栄養サポート加算件数の大幅増加を評価する。

### (24) 多種職連携の推進【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

「那覇市立病院コロナ対策本部」を中心にコロナ対策への工夫が見られ、コロナ情勢に応じた活動を行った事を評価する。特に毎日の「管理者朝礼」にて院内状況と方針確認、情報共有により病院全体での情報共有・連携を図っている事を評価する。今後は、コロナ対策以外についても、多職種連携を図られたい。



(25) 働きやすい職場環境づくり【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

「職員やりがい度調査」の実施し、コロナ禍における職員のストレス要因の分析を可能とした。分析結果に基づき、具体的な働きやすい職場環境づくりを目指していただきたい。また、「医師の働き方改革」に向けて委員会を設置・開催し、取組みを進めたことを評価する。

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(26) 経営機能の強化【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

査定率は、目標にやや達しないものの低率を維持しており、健全な診療報酬請求を実施、継続していることを評価する。オンライン資格確認システムの活用をさらに向上させ、医療現場のみならず管理部門の業務フローの改善につなげていただきたい。

(27) 収益的収支の向上【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

厳しいコロナの影響が持続し、一般病床を含めた病床コントロールの制限のために、「病床稼働率」が減少した事はやむを得ないと理解する。

(28) 弾力的な予算執行と費用削減【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

後発医薬品の供給不足が続く中、努力して「後発医薬品使用率」を目標値以上に達成出来た事は評価する。

また、保健材料の適正請求及び適正支払いについて取組み、“漏れなく正しい”レセプト請求を継続している事を良とします。

(29) 経営の効率化【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

コロナの影響により医業収益の確保が厳しい中、「新型コロナウイルス入院病床確保支援事業補助金」の自主返還により当期純損失を計上したことは残念であったが、「経常収支比率」103.6%の確保を評価する。

#### 第4 その他業務運営に関する重要事項

(30) 病院事業運営負担金に関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】  
(意見なし)

(31) 施設整備に関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】  
(意見)

新病院の建設を進めながら、現病院施設の改修、設備等の更新及び維持管理を継続していることを評価する。

(32) 市立病院建替えに関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】  
(意見)

新病院建設工事にあたっては、安全第一、かつ、患者さんに不安を与えない診療継続を期待する。また、昨今の建築価額の高騰で予算が増加することも考えられるため、予算管理と資金繰りの対応を丁寧に行っていただきたい。

(33) 外国人患者に対応できる医療の提供【ウエイト1 評価Ⅳ】  
(意見)

外国人患者に対応できる外国人患者対応の医療コーディネーター充実等に継続して取組み、前年に引き続き、受診者数が大幅に増加していることを評価する。